



SD-Accessの正常性のモニターとトラブルシューティング

- [SD-Access ファブリック \(1 ページ\)](#)
- [SD-Access ファブリックの正常性の監視とトラブルシューティング \(6 ページ\)](#)
- [ファブリックサイトの正常性の監視 \(11 ページ\)](#)
- [トランジットおよびピアネットワークの正常性の監視 \(16 ページ\)](#)
- [仮想ネットワークの正常性の監視 \(21 ページ\)](#)
- [仮想ネットワークの正常性スコア \(25 ページ\)](#)

SD-Access ファブリック

ファブリックテクノロジーは、SD-Access に不可欠な要素です。ファブリックネットワークは、1 つまたは複数の場所で単一のエンティティとして管理されるデバイスの論理グループです。ファブリックネットワークを使用すると、仮想ネットワークやユーザーおよびデバイスグループの作成、高度なレポート作成などが可能になります。その他の機能には、アプリケーション認識、トラフィック分析、トラフィックの優先順位付け、最適なパフォーマンスと運用効率のためのステアリングのインテリジェント サービスがあります。

Cisco DNA Center では、デバイスをファブリックネットワークに追加できます。これらのデバイスは、ファブリックネットワーク内のコントロールプレーン、ボーダーデバイスまたはエッジデバイスとして機能するように設定できます。

ファブリックサイトの追加

始める前に

IP デバイストラッキング (IPDT) がすでにサイトに設定されている場合にのみ、ファブリックサイトを作成できます。

ステップ 1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します： **[Provision] > [Fabric Sites]**.

ステップ 2 [SUMMARY] で、ファブリックサイトの数を示す数字をクリックします。

結果のウィンドウには、すでに作成されているすべてのファブリックサイトとその情報（正常性スコア、ファブリックゾーン、ファブリックデバイス、ファブリックロール、接続されたトランジットなど）が表形式で表示されます。

選択した列のみを表示するようにテーブルビューをカスタマイズできます。ウィンドウの右上隅にある歯車アイコンを使用して、[Table Settings] を編集し、[Apply] をクリックして変更を適用します。

ステップ 3 [Create Fabric Sites] をクリックします。

または、最初の 3 つの手順の代わりに、メニューアイコンをクリックして選択 [Workflow] > [Create Fabric Sites and Fabric Zones] の順に選択します。

ステップ 4 [Create Fabric Sites] ウィンドウで、[Let's Do it] をクリックして、ワークフローに直接移動します。

ステップ 5 [Fabric Site Location] ウィンドウで、ファブリックゾーンとして追加するエリア、建物、またはフロアを選択します。

ステップ 6 [Wired Endpoint Data Collection] ウィンドウで、[Wired Endpoint Data Collection] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

ステップ 7 [Authentication Template] ウィンドウで、次の手順を実行します。

a) ファブリックサイトの認証テンプレートを選択します。

- [Closed Authentication] : 認証前のすべてのトラフィック（DHCP、DNS、ARP など）が廃棄されます。
- [Open Authentication] : ホストには、802.1X 認証を受ける必要なくネットワーク アクセスが許可されます。
- [Low Impact] : スイッチポートに ACL を適用することでセキュリティを追加して、認証前に非常に制限されたネットワークアクセスを許可します。ホストが正常に認証されると、追加のネットワークアクセスが許可されます。
- [None]

b) （オプション） [Closed Authentication]、[Open Authentication]、または [Low Impact] を選択した場合は、[Edit] をクリックして認証設定を編集します。

- [First Authentication Method] : [802.1x] または [MAC Authentication Bypass (MAB)] を選択します。
- [802.1x Timeout (in seconds)] : スライダーを使用して、802.1x タイムアウトを秒単位で指定します。
- [Wake on LAN] : [Yes] または [No] を選択します。
- [Number of Hosts] : [Unlimited] または [Single] を選択します。
- [BPDU Guard] : このチェックボックスを使用して、すべての [Closed Authentication] ポートでブリッジプロトコルデータユニット (BPDU) ガードを有効または無効にします。
- [Pre-Authentication Access Control List] : トグルボタンを有効にして、[Low Impact] 認証の事前認証制御を構成します。[Implicit Action] ドロップダウンリストから、暗黙的なアクションを選択

し、ルールの説明を入力します。アクセスコントラクトを追加するには、[Add Contract Action] をクリックし、ルールを選択して、[Apply Table] をクリックします。

- ステップ 8** (オプション) [Fabric Zones] ウィンドウで、次のいずれかのオプションを選択します。
- 後でファブリックゾーンを指定するには、[Setup Fabric Zones Later] をクリックします。
 - ファブリックゾーンを指定し、範囲指定されたサブネットを作成するには、[Setup Fabric Zones Now] をクリックし、表示されたネットワーク階層からファブリックサイトを選択します。
- ステップ 9** [Summary] ウィンドウで、ファブリックサイトの設定を確認します。
ここでファブリックサイトまたはゾーン設定を編集できます。
- ステップ 10** [Fabric Site Creation Scheduler] ウィンドウで、[Visibility and Control of Configurations] の設定に基づいて、使用可能なオプションを選択します。
- 設定をすぐに展開するには、[Now] をクリックします。
 - 将来の日付と時刻で展開をスケジュールするには、[Later] をクリックし、展開する日付、時刻、タイムゾーンを定義します。
 - 設定をプレビューするには、[Generate Configuration Preview] をクリックします。

可視性のみが有効になっている場合、または可視性と制御の両方が有効になっている場合、[Generate Configuration Preview] がデフォルトで選択され、[Now] と [Later] がグレー表示（使用不可）になります。詳細については、『Cisco DNA Center ユーザガイド』の「Visibility and Control of Fabric Configurations」を参照してください。

- ステップ 11** [展開 (Deploy)] をクリックします。
- [Fabric Site Creation Scheduler] ウィンドウで [Now] または [Later] を選択した場合、デバイス構成はスケジュールされた時刻に展開されます。[Tasks] ウィンドウでタスクを確認できます。
- サイトとゾーンがプロビジョニングされるまでに数秒かかります。サイトの作成が成功すると、「Fabric Site Creation Completed」というメッセージが表示されます。
- 次に、新しいファブリックサイトを作成するか [Task] ウィンドウでアクティビティを表示するかを選択できます。

- ステップ 12** [Fabric Site Creation Scheduler] ウィンドウで [Generate Configuration Preview] を選択した場合は、[Visibility and Control of Configurations] の設定に応じて、次の手順を実行します。
1. デバイス構成を確認します。
詳細については、『Cisco DNA Center ユーザガイド』の「Visibility and Control of Fabric Configurations」を参照してください。
 2. 準備ができれば、[Deploy] または [Submit for Approval] をクリックします。構成の展開、または ITSM 承認のために送信する準備ができていない場合は、[Exit and Preview Later] をクリックします。
(注) ITSM 承認のためにデバイス設定を送信し、すべての設定をプレビューせずにこれらの設定を展開できます。

3. スライドインペインで、設定を展開するタイミングを指定し、タイムゾーンを選択します。可視性と制御が有効になっている場合は、IT 管理者へのメモを追加します。
4. [Submit] をクリックします。

設定が正常に送信されると、成功メッセージが表示されます。

展開するタスクをプレビューしてスケジュールした場合は、[Tasks] ウィンドウでタスクを確認できます。

ITSM 承認のために設定を送信した場合は、[Work Items] ウィンドウで作業項目のステータスを表示できます。承認されていない場合は、ITSM 承認のために作業項目を再送信する必要があります。設定が承認されると、スケジュールされた時刻に展開され、[Tasks] ウィンドウで確認できます。

ファブリックへのデバイスの追加

ファブリックサイトを作成すると、そのファブリックサイトにデバイスを追加できます。デバイスがコントロールプレーンノード、エッジノード、またはボーダーノードとして機能する必要があるかどうかも指定できます。

IP デバイストラッキング (IPDT) がファブリックサイトに設定されている場合にのみ、新しいデバイスをファブリックサイトに追加できます。

アクセスロールが割り当てられ、サイトで IPDT を有効にする前にプロビジョニングされたデバイスは、ファブリックに追加できません。このようなデバイスは、ファブリックサイトに追加する前に再プロビジョニングしてください。プロビジョニングワークフローを調べて、デバイスでの [Deployment of IPDT] のステータスを確認します。



- (注)
- ファブリックサイト内のデバイスをコントロールプレーンノードまたはボーダーノードとして指定する手順はオプションです。それらのロールがないデバイスもあります。ただし、各ファブリックサイトには、少なくとも1つのコントロールプレーンノードデバイスと1つのボーダーノードデバイスが存在する必要があります。有線ファブリックの現在のリリースでは、冗長性を確保するために最大6つのコントロールプレーンノードを追加できます。
 - 現在、シスコワイヤレスコントローラは2つのコントロールプレーンノードとのみ通信します。

始める前に

デバイスをプロビジョニングします (まだプロビジョニングしていない場合)。

- **[Provision] > [Network Devices] > [Inventory]** ウィンドウに、検出されたデバイスが表示されます。

- ファブリックの準備状況チェックに合格し、プロビジョニングする準備が整ったら、トポロジビューにデバイスがグレー色で表示されます。
- ファブリックの準備状況チェックの実行中にエラーが検出された場合、エラー通知が [topology] エリアに表示されます。[See more details] をクリックして、結果のウィンドウに一覧表示された問題のあるエリアを確認します。問題を修正し、[Re-check] をクリックして問題が解決されていることを確認します。
- 問題解決の一環としてデバイスの設定を更新する場合は、デバイスで [Inventory] > [Resync] を実行して、デバイス情報を再同期してください。



(注) ファブリックの準備状況チェックに失敗しても、デバイスのプロビジョニングを続行できます。

ステップ 1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します： [Provision] > [Fabric Sites].

ステップ 2 [SUMMARY] で、ファブリックサイトの数を示す数字をクリックします。

ステップ 3 デバイスを追加するファブリックサイトを選択します。

インベントリされたネットワーク内のすべてのデバイスが結果のトポロジビューに表示されます。トポロジ表示では、ファブリックに追加されるすべてのデバイスは青です。

ステップ 4 [Fabric Infrastructure] タブの [List] ビューで、デバイスをクリックします。slide-in paneに、次の [Fabric] オプションが表示されます。

オプション	説明
エッジノード	選択したデバイスをエッジノードとして有効にするには、このオプションの横にあるボタンをトグルします。
ボーダー ノード	選択したデバイスをボーダーノードとして有効にするには、このオプションの横にあるボタンをトグルします。
コントロールプレーンノード	選択したデバイスをコントロールプレーンノードとして有効にするには、このオプションの横にあるボタンをトグルします。

デバイスをファブリックインボックスとして設定するには、[Control Plane Node]、[Border Node]、および [Edge Node] オプションを選択します。

デバイスをコントロールプレーンおよびボーダーノードとして設定するには、[Control Plane Node] と [Border Node] の両方を選択します。

ステップ 5 [Add] をクリックします。

次のタスク

デバイスがファブリックに追加されると、ファブリック コンプライアンス チェックが自動的に実行され、デバイスがファブリックに準拠していることが確認されます。トポロジには、ファブリック コンプライアンス チェックに失敗したデバイスが青色で、横に十字マークが付いた状態で表示されます。エラー通知の [詳細の表示 (See more details)] をクリックして問題領域を特定し、修正します。

SD-Access ファブリックの正常性の監視とトラブルシューティング

この手順を使用して SD-Access ファブリックの概要を把握して、対処する必要がある潜在的な問題があるかどうかを判断します。

ファブリックネットワークは、1つまたは複数の場所で単一のエンティティとして管理されるデバイスの論理グループです。Cisco DNA Center では、デバイスをファブリックネットワークに追加できます。これらのデバイスは、ファブリックネットワーク内のコントロールプレーン、ボーダーデバイスまたはエッジデバイスとして機能するように設定できます。

始める前に

アシュアランスを設定します。「[基本的な設定のワークフロー](#)」を参照してください。

ファブリックサイトを監視およびトラブルシューティングするには、最初にファブリックサイトを構成する必要があります。[ファブリックサイトの追加 \(1 ページ\)](#) および [ファブリックへのデバイスの追加 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

マルチサイトファブリック サイトの詳細情報については、[Cisco Digital Network Architecture Center ユーザーガイド](#)の「Provision Your Network」の章を参照してください。



(注) サブテンドノードと拡張ノードは、ファブリックの正常性の対象にはなりません。ファブリックのプロビジョニング中、これらのノードには、エッジ、ボーダー、コントロールプレーンなどのファブリックロールが割り当てられません。

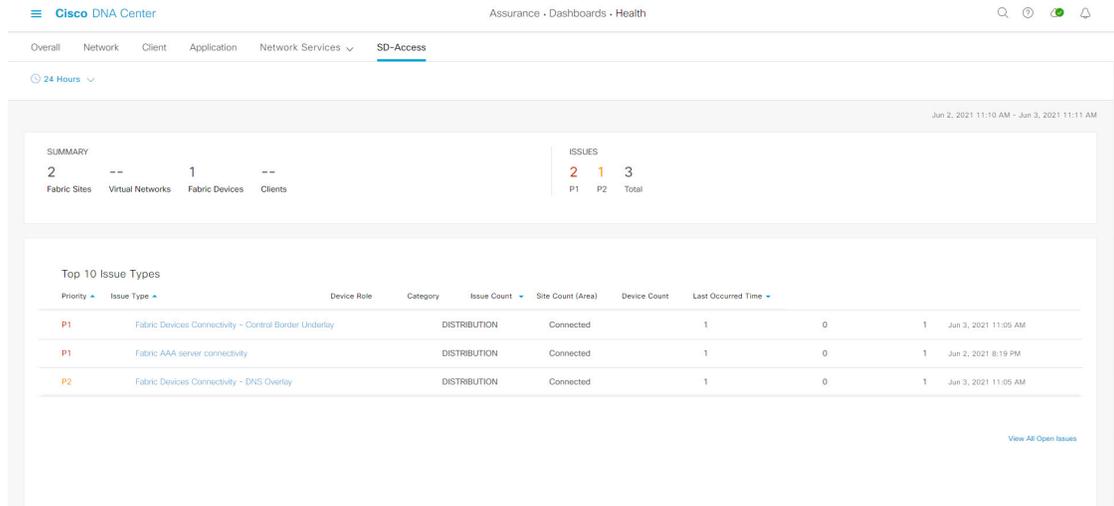
ステップ 1 [Health]左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[アシュアランス](#) >。

[Overall Health] ダッシュボードが表示されます。

ステップ 2 [SD-Access] タブをクリックします。

[SD-Access health] ダッシュボードが表示されます。

図 1: [Network Health] ダッシュボード



ステップ 3 上部のメニューバーにある時間範囲設定 (🕒) をクリックして、ダッシュボードに表示するデータの時間範囲を指定します。

- ドロップダウンメニューから、時間範囲として [3 Hours]、[24 Hours]、または [7 Days] を選択します。
- [Start Date] と時刻、[End Date] と時刻を指定します。
- [Apply] をクリックします。

ステップ 4 次の機能には、[SD-Access Health Summary] ダッシュレットを使用します。

アイテム	説明
Summary	<ul style="list-style-type: none"> [Fabric Sites] : ファブリックサイトの数。 [Virtual Networks] : 仮想ネットワークの数。 [Fabric Endpoints] : ファブリックエンドポイントの数。 [Endpoints] : エンドポイントの数。
問題	<ul style="list-style-type: none"> [P1] : 優先度 1 の問題の数。 [P2] : 優先度 2 の問題の数。 [Total] : P1、P2、および P3 の問題の合計数。

ステップ 5 次の機能には、SD-Access の [Top 10 Issue Types] ダッシュレットを使用します。

表 1:

[Top 10 Issues] ダッシュレット
<p>対処する必要がある上位 10 件の問題を表示します（存在する場合）。問題は色分けされ、事前割り当てされた P1 から始まる優先度レベルで並び替えられます。</p> <p>問題をクリックすると、スライドインペインが開き、問題のタイプに関する追加の詳細が表示されます。スライドインペインで問題のインスタンスをクリックします。必要に応じて、次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 問題を解決するには、[Status] ドロップダウンメニューで [Resolve] を選択します。 • 問題のインスタンスを無視するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. [Status] ドロップダウンリストから、[Ignore] を選択します。 2. スライダで問題を無視する時間数を設定します。 3. [Confirm] をクリックします。 <p>[View All Issues] をクリックすると、[Open Issues] ウィンドウが開きます。</p>

ステップ 6 [Fabric Sites] ダッシュレットを使用して、ネットワーク内のファブリックサイトに関する詳細情報を表示します。このダッシュレットには、次の機能があります。

[Fabric Sites] ダッシュレット	
アイテム	説明
[Health]	<p>次のオプションを使用して、クライアントの正常性を基にテーブルをフィルタリングします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべて • [Inactive] : 正常性スコアが 0 のファブリックサイト。 • [Poor] : 正常性スコアが 1 ~ 3 のファブリックサイト。 • [Fair] : 正常性スコアが 4 ~ 7 のファブリックサイト。 • [Good] : 正常性スコアが 8 ~ 10 のファブリックサイト。 • [No Data] : データのないファブリックサイト。

[Fabric Sites] ダッシュレット	
アイテム	説明
[Fabric Site] テーブル	<p>ファブリックサイトの詳細情報を表形式で表示します。デフォルトでは、[Fabric Site] テーブルには次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fabric Site] : ファブリックサイトの名前。 ファブリックサイト名をクリックして、ファブリックサイトの360度ビューを表示することもできます。ファブリックサイトの正常性の監視 (11 ページ) を参照してください。 • [# of Fabric Devices] : ファブリックサイト内のファブリックデバイスの数。 • [Fabric Site Health] : <ul style="list-style-type: none"> • [Overall] : ファブリックサイトの全体的な正常性。 • [Fabric Site Connectivity] : ファブリックサイトとの接続の状態。 • [Fabric Infrastructure] : ファブリックサイトを構成するデバイスの正常性。
[Export]	<p>CSV ファイルにテーブルデータをエクスポートするには、[Export] をクリックします。</p> <p>(注) テーブルの列が選択されていない場合、使用可能なすべての列のデータがエクスポートの対象になります。アプリケーションテーブルに適用されているフィルタは、エクスポート対象のデータに適用されます。</p>
	<p>テーブルの表示をカスタマイズします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Table Appearance] タブで、テーブルの密度とストライピングを設定します。 2. [Edit Table Columns] タブで、テーブルに表示するデータを選択します。 3. [Apply] をクリックします。

ステップ 7 [Virtual Networks] ダッシュレットを使用して、ファブリックサイト内の仮想ネットワークに関する詳細情報を表示します。このダッシュレットには、次の機能があります。

[Virtual Networks] ダッシュレット	
アイテム	説明
[Health]	<p>次のオプションを使用して、仮想ネットワークの正常性を基にテーブルをフィルタ処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] • [Inactive]: ヘルス スコアが 0 の仮想ネットワーク。 • [Poor]: 正常性スコアが 1 ~ 3 の仮想ネットワーク。 • [Fair]: 正常性スコアが 4 ~ 7 の仮想ネットワーク。 • [Good]: 正常性スコアが 8 ~ 10 の仮想ネットワーク。 • [No Data]: データのない仮想ネットワーク。
[Virtual Networks] テーブル	<p>仮想ネットワークの詳細情報を表形式で表示します。デフォルトでは、[Virtual Networks] テーブルには次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [VN Name]: 仮想ネットワークの名前。 <p>仮想ネットワーク名をクリックして、仮想ネットワークの 360 度ビューを表示することもできます。仮想ネットワークの正常性の監視 (21 ページ) を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [# of Active Sites]: 仮想ネットワーク内のアクティブなサイトの数。 • [# of Clients]: 仮想ネットワーク内のエンドポイントの数。 • [Virtual Network Health]: <ul style="list-style-type: none"> • [Overall]: 仮想ネットワークの全体的な正常性。 • [VN Services]: 仮想ネットワークサービスの正常性。
[Export]	<p>CSV ファイルにテーブルデータをエクスポートするには、[Export] をクリックします。</p> <p>(注) テーブルの列が選択されていない場合、使用可能なすべての列のデータがエクスポートの対象になります。アプリケーションテーブルに適用されているフィルタは、エクスポート対象のデータに適用されます。</p>
	<p>テーブルの表示をカスタマイズします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Table Appearance] タブで、テーブルの密度とストライピングを設定します。 2. [Edit Table Columns] タブで、テーブルに表示するデータを選択します。 3. [Apply] をクリックします。

ファブリックサイトの正常性の監視

この手順を使用して、特定のファブリックサイトの詳細を表示します。

ステップ 1 [Health] 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：アシュアランス >。

[Overall Health] ダッシュボードが表示されます。

ステップ 2 [SD-Access] タブをクリックします。

[SD-Access health] ダッシュボードが表示されます。

ステップ 3 [Fabric Site] テーブルで、ファブリックサイトの名前をクリックします。

ファブリックサイトの 360° ビューを提供する [Fabric Site] ウィンドウが表示されます。

図 2: Fabric Site 360



ステップ 4 左上隅にある時間範囲設定 (🕒) をクリックして、ウィンドウに表示するデータの時間範囲を指定します。

- ドロップダウンリストから、時間範囲として [3 hours]、[24 hours]、または [7 days] を選択します。
- [Start Date] と時刻、[End Date] と時刻を指定します。
- [Apply] をクリックします。

ステップ 5 正常性タイムラインスライダを使用して、より詳細な時間範囲の正常性スコアや品質情報を確認します。

タイムライン内でカーソルを合わせると、次の情報が表示されます。

[Fabric Site Health] : 正常性は、このサイトの正常なファブリックノードの割合です。コントロールプレーンのデバイスヘルスには含まれません。[Fabric Sub Category Health] は、基礎となる KPI スコアの最小値です。

(注) KPI は正常性スコアに含まれません。

[Fabric Site Connectivity] : コントロールプレーンの到達可能性、拡張ノードの接続性など、サイトの到達可能性ステータスに寄与する KPI サブカテゴリが一覧表示されます。

ファブリック コントロール プレーン

ファブリック インフラストラクチャ

時間範囲を指定するには、タイムライン境界線をクリックしてドラッグします。この境界により、Fabric Site 360 ウィンドウに表示されるファブリックサイトデータのコンテキストが設定されます。

[Latest] および [Trend] タブをクリックすると、カテゴリに表示されるデータの範囲が切り替わります。

- [Latest] : ウィンドウの上部にあるタイムラインに、選択した時間枠のデータが表示されます。
- [Trend] : 過去 24 時間のデータが表示されます。

ステップ 6 タイムラインの下にある [Fabric Site Health] エリアで、次の情報を確認します。

ファブリックサイトの正常性	
アイテム	説明
Latest	<p>デフォルトで表示されます。2つのペインがあります。左側のペインには、ネットワークの正常性の概要スコアとデバイスの合計数が表示されます。右側のペインには、チャートが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Health Fabric Nodes] : 選択したサイトの正常な（良好な）ノードの割合。 • [Total Devices] : ネットワークデバイスの総数と、[Good Health]、[Fair Health]、[Poor Health]、および [No Health Data] 状態のデバイスの数。 • [Charts] : この色分けされたスナップショットビューチャートには、過去5分間のファブリックサイトの接続とインフラストラクチャが表示されます。 <p>いずれかの色の上にカーソルを重ねると、その色に関連付けられたデバイスの正常性スコアと数が表示されます。</p> <p>チャートに低い正常性スコア（赤またはオレンジ）が示されている場合、その低い正常性スコアに寄与した KPI がバーの隣に示されます。たとえば、ファブリック CP の到達可能性、マルチキャスト RP、AAA サーバーのステータスなどが示されます。</p> <p>チャート内のハイパーリンクされたファブリックカテゴリをクリックしてサイドペインを開き、それぞれの KPI サブカテゴリを表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Fabric Site Connectivity] : コントロールプレーンの到達可能性、拡張ノードの接続性、ボーダーからコントロールプレーンへの BGP セッション、ボーダーからインフラ VN のピアノードへの BGP セッション。 • [Fabric Control Plane] : LISP セッションステータス。 • [Fabric Infrastructure] : インフラ VN の AAA サーバーステータスと Pub/Sub セッションステータス、CTS 環境データのダウンロード。

ファブリックサイトの正常性	
アイテム	説明
Trend	<p>[Trend] タブをクリックすると、トレンドチャートが表示されます。この色分けされたトレンドチャートは、ある時間範囲におけるデバイスのパフォーマンスを示しています。チャートにカーソルを重ねると、デバイスの合計数とその健全性が時系列で表示されます。</p> <p>チャートの色は、ネットワークデバイスの正常性を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● : 不良なネットワークデバイス。ヘルス スコアの範囲は 1～3 です。 ● : 中程度のネットワークデバイス。ヘルス スコアの範囲は 4～7 です。 ● : 良好なネットワークデバイス。ヘルス スコアの範囲は 8～10 です。 ● : 正常性データなし。ヘルス スコアは 0 です。

ステップ 7 [Top 10 Issue Types] エリアを使用して、次の情報を表示します。

問題
<p>対処する必要がある問題を表示します。問題は、タイムスタンプに基づいて一覧表示されます。直近の問題が最初にリストされます。</p> <p>問題をクリックするとスライドインペインが開き、問題の説明、影響、および推奨されるアクションなど、対応する詳細情報が表示されます。</p> <p>スライドインペインでは、次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • この問題を解決するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ドロップダウンリストから [Resolve] を選択します。 2. 解決済みの問題の一覧を表示するには [Resolved Issues] をクリックします。 • 問題を無視するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ドロップダウンリストから [Ignore] を選択します。 2. スライダーで問題を無視する時間数を設定します。 3. [Confirm] をクリックします。 4. 無視された問題の一覧を表示するには [Ignored Issues] をクリックします。 <p>問題のタイプの詳細については、問題の表示と管理を参照してください。</p>

ステップ 8 次の機能には、[Fabric Nodes] ダッシュレットを使用します。

[Networks Devices] ダッシュレット	
アイテム	説明
[Type]	オプション ([All]、[Fabric Control Plane]、[Fabric Border]、[Fabric Edge]、[Fabric WLC]、[Fabric AP]、[Extended Node]) を使用して、ファブリックノードタイプに基づいてテーブルをフィルタ処理します。
ファブリックサイトの正常性	次のオプションを使用して、ファブリックサイトの全体的な正常性スコアに基づいてテーブルをフィルタ処理します。 <ul style="list-style-type: none"> • [All] • [Poor] : 正常性スコアが 1 ~ 3 のデバイス。 • [Fair] : 正常性スコアが 4 ~ 7 のデバイス。 • [Good] : 正常性スコアが 8 ~ 10 のデバイス。 • [No Health] : 正常性データのないデバイス。
ファブリックノードテーブル	<p>選択したサイトのすべてのファブリックノードのデバイス情報を表形式で表示します。</p> <p>(注) 全体的な正常性スコアは、ファブリックサイト接続とファブリック インフラストラクチャの KPI メトリック正常性スコアの最小サブスコアです。</p> <p>[Name]、[Issue Type Count]、および [Fabric Role] 列には、ファブリック名、問題数、およびファブリックロール (エッジ、ボーダー、マップサーバーなど) が表示されます。</p> <p>[Device Fabric Site Health] の [Overall] 列で、正常性スコアの上にマウスカーソルを合わせます。全体の [Device Fabric Site Health] スコアが、すべての KPI メトリックの正常性とパーセンテージとともに表示されます。</p> <p>カーソルを [Fabric Site Connectivity]、[Fabric Control Plane]、および [Fabric Infrastructure] アイコンに合わせると、正常性スコアが表示されます。</p>
[Device 360]	<p>[Name] 列でデバイス名をクリックすると、デバイスの 360 度ビューが表示されます。</p> <p>[Device 360] には、デバイスの問題のトラブルシューティングに関する詳細情報が記載されています。</p>
 Export	デバイス情報を CSV ファイルにエクスポートするには、[Export] をクリックします。

[Networks Devices] ダッシュレット	
アイテム	説明
	<p>テーブルに表示するデータをカスタマイズします。</p> <ol style="list-style-type: none">  をクリックします。 オプションのリストが表示されます。 テーブルに表示するデータのチェックボックスをオンにします。 [Apply] をクリックします。

トランジットおよびピアネットワークの正常性の監視

この手順を使用して、特定のトランジットネットワークの詳細を表示します。

ステップ 1 [Health] 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：アシュアランス >。

[Overall Health] ダッシュボードが表示されます。

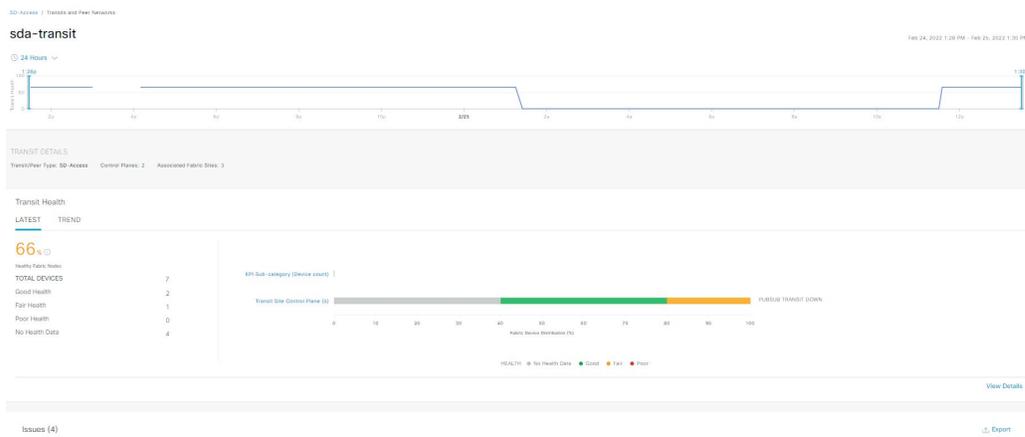
ステップ 2 [Overall Health] ダッシュボードで、[SD-Access] タブをクリックします。

[SD-Access Health] ダッシュボードが表示されます。

ステップ 3 [Transit and Peer Network] テーブルで、トランジットの名前をクリックします。

ファブリックサイトの 360 度ビューを提供する [Transit Site 360] ウィンドウが表示されます。

図 3: トランジット 360



ステップ 4 左上隅にある時間範囲設定 (🕒) をクリックして、ウィンドウに表示するデータの時間範囲を指定します。

- a) ドロップダウンリストから、時間範囲として [3 hours]、[24 hours]、または [7 days] を選択します。
- b) [Start Date] と時刻、[End Date] と時刻を指定します。
- c) [Apply] をクリックします。

ステップ 5 正常性タイムラインスライダを使用して、より詳細な時間範囲の正常性スコアや品質情報を確認します。タイムライン内でカーソルを合わせると、次の情報が表示されます。

[Transit Network Health] : 正常性スコアは、このサイトの正常なファブリックノードの割合です。コントロールプレーンのデバイスの正常性は含まれません。[Fabric Category Health] は、基礎となる KPI スコアの最小値です。

[Transit Site Control Plane] : トランジットの LISP セッションや Pub/Sub セッションなどの KPI サブカテゴリが一覧表示されます。トランジット正常性スコアが低い場合は、[View Device List] をクリックして、低いスコアの原因となっているデバイスおよび関連するダウンセッションのリストを表示します。ハイパーリンクされたデバイスの名前をクリックすると、デバイス情報が表示されます。

カテゴリに表示されるデータの範囲を変更するには、次のいずれかのタブをクリックします。

- [Latest] : ウィンドウの上部にあるタイムラインに、選択した時間枠のデータが表示されます。
- [Trend] : 過去 24 時間のデータが表示されます。

ステップ 6 タイムラインの下にある [Transit Health] エリアで、次の情報を確認します。

アイテム	説明
[LATEST]	<p>デフォルトで表示されます。2つのペインがあります。左側のペインには、ネットワークの正常性の概要スコアとデバイスの合計数が表示されます。右側のペインには、チャートが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Health Fabric Nodes] : 選択したサイトの正常な（良好な）ノードの割合。 • [Total Devices] : ネットワークデバイスの総数と、[Good Health]、[Fair Health]、[Poor Health]、および [No Health Data] 状態のデバイスの数。 • [Charts] : この色分けされたスナップショット ビュー チャートは、過去 5 分間のトランジット コントロール プレーンを示します。 <p>いずれかの色の上にカーソルを重ねると、その色に関連付けられたデバイスの正常性スコアと数が表示されます。</p> <p>チャート内のハイパーリンクされた [Transit Control Plane] をクリックしてサイドペインを開き、トランジットコントロールプレーンの次の KPI サブカテゴリを表示することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [BGP Session from Border to Transit Control Plane] • [LISP session from Border to Transit Control Plane] • [PubSub session from Border to Transit Control Plane] <p>チャートの色のセグメントにカーソルを合わせると、ファブリックノードの名前、問題数、ファブリックロール、ファブリックサイト、デバイスのトランジットの正常性などのファブリックノードの詳細を表形式で表示できます。</p>
[TREND]	<p>[TREND] タブをクリックすると、トレンドチャートが表示されます。この色分けされたトレンドチャートは、ある時間範囲におけるデバイスのパフォーマンスを示しています。チャートにカーソルを重ねると、デバイスの合計数とその健全性が時系列で表示されます。</p> <p>チャートの色は、ネットワークデバイスの正常性を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● : 不良なネットワークデバイス。正常性スコアの範囲は 1 ~ 3 です。 ● : 中程度のネットワークデバイス。正常性スコアの範囲は 4 ~ 7 です。 ● : 良好なネットワークデバイス。正常性スコアの範囲は 8 ~ 10 です。 ● : 正常性データなし。正常性スコアは 0 です。

ステップ 7 [Top 10 Issue Types] エリアを使用して、次の情報を表示します。

問題
<p>対処する必要がある問題を表示します。問題は、タイムスタンプに基づいて一覧表示されます。直近の問題が最初にリストされます。</p> <p>問題をクリックするとスライドインペインが開き、問題の説明、影響、および推奨されるアクションなど、対応する詳細情報が表示されます。</p> <p>スライドインペインでは、次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • この問題を解決するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ドロップダウンリストから [Resolve] を選択します。 2. 解決済みの問題の一覧を表示するには [Resolved Issues] をクリックします。 • 問題を無視するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ドロップダウンリストから [Ignore] を選択します。 2. スライダで問題を無視する時間数を設定します。 3. [Confirm] をクリックします。 4. 無視された問題の一覧を表示するには [Ignored Issues] をクリックします。 <p>問題のタイプの詳細については、問題の表示と管理を参照してください。</p>

ステップ 8 次の機能には、[Associated Fabric Sites] ダッシュレットを使用します。

アイテム	説明
[Health]	<p>次のオプションを使用して、ファブリックサイトの全体的な正常性スコアに基づいてテーブルをフィルタ処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] • [Poor] : 正常性スコアが 1 ~ 3 のデバイス。 • [Fair] : 正常性スコアが 4 ~ 7 のデバイス。 • [Good] : 正常性スコアが 8 ~ 10 のデバイス。 • [No Health] : 正常性データのないデバイス。
[Associated Fabric Sites] テーブル	<p>ファブリックテーブルに次の詳細を表示します。[Fabric Site]、[Health]、使用可能な [Connected Transit/ Peer Networks] の数、[Layer 3 Virtual Network]、および [Fabric Devices]。</p>

アイテム	説明
[Device 360]	[Name] 列でデバイス名をクリックすると、デバイスの 360 度ビューが表示されます。 [Device 360] ウィンドウには、デバイスの問題のトラブルシューティングに関する詳細情報が記載されています。
 Export	デバイス情報を CSV ファイルにエクスポートするには、[Export] をクリックします。
	テーブルに表示するデータをカスタマイズします。 1. 設定アイコン () をクリックします。 オプションのリストが表示されます。 2. [Table Settings] スライドインペインで、テーブルに表示するデータのトグルボタンを有効にします。 3. [Apply] をクリックします。

ステップ 9 次の機能には、[Fabric Nodes] ダッシュレットを使用します。

アイテム	説明
[Type]	オプション ([All]、[Transit Control Plane]、[Border]) を使用して、ファブリックノードタイプに基づいてテーブルをフィルタ処理します。
[Transit and Peer Network Health] テーブル	次のオプションを使用して、トランジットの全体的な正常性スコアに基づいてテーブルをフィルタ処理します。 <ul style="list-style-type: none"> • [All] • [Poor] : 正常性スコアが 1 ~ 3 のデバイス。 • [Fair] : 正常性スコアが 4 ~ 7 のデバイス。 • [Good] : 正常性スコアが 8 ~ 10 のデバイス。 • [No Health] : 正常性データのないデバイス。

アイテム	説明
[Fabric Node] テーブル	<p>選択したトランジットのすべてのファブリックノードのデバイス情報を表形式で表示します。</p> <p>(注) 全体的な正常性スコアは、トランジット サイト コントロールプレーンの KPI メトリック 正常性スコアの最小サブスコアです。</p> <p>[Name]、[Issue Type Count]、[Fabric Role]、および[Fabric Site] 列には、ファブリック名、問題数、ファブリックロール、およびファブリックサイトが表示されます。</p> <p>[Device Transit Health] の [Overall] 列で、正常性スコアの上にカーソルを合わせます。全体の [Device Transit Health] スコアが、すべての KPI メトリックの正常性とパーセンテージとともに表示されます。</p> <p>[Transit Site Control Plane] アイコンにカーソルを合わせると、正常性スコアが表示されます。</p>
[Device 360]	<p>[Name] 列でデバイス名をクリックすると、デバイスの 360 度ビューが表示されます。</p> <p>[Device 360] ウィンドウには、デバイスの問題のトラブルシューティングに関する詳細情報が記載されています。</p>
 Export	<p>デバイス情報を CSV ファイルにエクスポートするには、[Export] をクリックします。</p>
	<p>テーブルに表示するデータをカスタマイズします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設定アイコン () をクリックします。 2. [Table Settings] スライドインペインで、テーブルに表示するデータのトグルボタンを有効にします。 3. [Apply] をクリックします。

仮想ネットワークの正常性の監視

この手順を使用して、特定の仮想ネットワークの詳細を表示します。

- ステップ 1** [Health] 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：**アシュアランス** >。
[Overall Health] ダッシュボードが表示されます。

ステップ 2 [SD-Access] タブをクリックします。

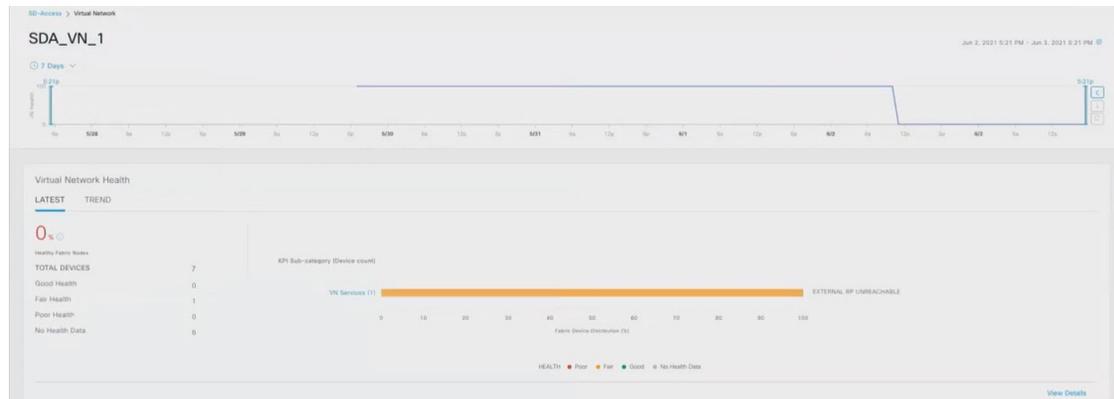
[SD-Access health] ダッシュボードが表示されます。

ステップ 3 下にスクロールし、[Virtual Network] をクリックします。

ステップ 4 [Virtual Network] テーブルで、仮想ネットワークの名前をクリックします。

仮想ネットワークの 360 度ビューを提供する [Virtual Network 360] ウィンドウが表示されます。

図 4: Virtual Network 360



ステップ 5 左上隅にある時間範囲設定 (🕒) をクリックして、ウィンドウに表示するデータの時間範囲を指定します。

- ドロップダウンメニューから、時間範囲として [3 hours]、[24 hours]、または [7 days] を選択します。
- [Start Date] と時刻、[End Date] と時刻を指定します。
- [Apply] をクリックします。

ステップ 6 仮想ネットワークの正常性タイムラインスライダを使用して、より詳細な時間範囲の仮想ネットワークの正常性スコアや仮想ネットワークの品質情報を確認します。

タイムライン内でカーソルを合わせると、次の情報が表示されます。

[Virtual Network Health] : 正常性スコアは、VN における正常なデバイスの割合です。[VN Category Health] は、対応するサブカテゴリの KPI スコアの最小値です。[VN Services] には、[BGP Session from Border to Peer Node]、[Multicast (external RP)]、[Default Route Registration]、および [VN Control Plane] が含まれます。

VN 正常性スコアが低い場合は、[View Device List] をクリックして、低いスコアの原因となっているデバイスおよび関連するダウンセッションのリストを表示します。ハイパーリンクされたデバイスの名前をクリックすると、デバイス情報が表示されます。

時間範囲を指定するには、タイムライン境界線をクリックしてドラッグします。これにより、360 ウィンドウに表示されるデータのコンテキストが設定されます。

[Latest] および [Trend] タブをクリックすると、カテゴリに表示されるデータの範囲が切り替わります。

- [Latest] : ウィンドウの上部にあるタイムラインに、選択した時間枠のデータが表示されます。
- [Trend] : 過去 24 時間のデータが表示されます。

ステップ7 タイムラインの下にある [Virtual Network Health] エリアで、次の情報を確認します。

Virtual Network Health	
アイテム	説明
Latest	<p>デフォルトで表示されます。左側のペインには、仮想ネットワークの正常性の概要スコアとデバイスの合計数が表示されます。右側のペインには、チャートが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Healthy Fabric Nodes] : 選択したサイトの正常な（良好な）ノードの割合。 • [Total Devices] : ファブリックデバイスの総数と、[Good Health]、[Fair Health]、[Poor Health]、および [No Health Data] 状態のデバイスの数。 • [Charts] : この色分けされたスナップショットビューチャートには、[VN Control Plane] ([Pub-Sub Sessions Status]) や [VN Services] ([BGP Session from Border to Peer Node]、[Multicast-external RP] および [Default Route Registration]) などのサブカテゴリを持つ KPI が表示されます。 <p>いずれかの色の上にカーソルを重ねると、その色に関連付けられたデバイスの正常性スコアと数が表示されます。</p> <p>チャートに低い正常性スコア（赤またはオレンジ）が示されている場合、その低い正常性スコアに寄与した KPI がバーの隣に示されます。</p> <p>ハイパーリンクされたカテゴリをクリックして、詳細を含むサイドペインを開きます。</p>
Trend	<p>[Trend] タブをクリックすると、トレンドチャートが表示されます。この色分けされたトレンドチャートは、ある時間範囲におけるデバイスのパフォーマンスを示しています。チャートにカーソルを重ねると、デバイスの合計数とその健全性が時系列で表示されます。</p> <p>チャートの色は、ネットワークデバイスの正常性を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● : 不良なネットワークデバイス。ヘルススコアの範囲は1～3です。 ● : 中程度のネットワークデバイス。ヘルススコアの範囲は4～7です。 ● : 良好なネットワークデバイス。ヘルススコアの範囲は8～10です。 ● : 正常性データなし。ヘルススコアは0です。

ステップ8 [Top 10 Issue Types] エリアを使用して、次の情報を表示します。

問題
<p>対処する必要がある問題を表示します。問題は、タイムスタンプに基づいて一覧表示されます。直近の問題が最初にリストされます。</p> <p>問題をクリックするとスライドインペインが開き、問題の説明、影響、および推奨されるアクションなど、対応する詳細情報が表示されます。</p> <p>スライドインペインでは、次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • この問題を解決するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ドロップダウンリストから [Resolve] を選択します。 2. 解決済みの問題の一覧を表示するには [Resolved Issues] をクリックします。 • 問題を無視するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ドロップダウンリストから [Ignore] を選択します。 2. スライダーで問題を無視する時間数を設定します。 3. [Confirm] をクリックします。 4. 無視された問題の一覧を表示するには [Ignored Issues] をクリックします。 <p>問題のタイプの詳細については、問題の表示と管理を参照してください。</p>

ステップ 9 次の機能には、[Virtual Network Devices] ダッシュレットを使用します。

[Virtual Network Devices] ダッシュレット	
アイテム	説明
[Type]	タイプに基づいてテーブルをフィルタ処理します。
[Virtual Network Health]	<p>次のオプションを使用して、仮想ネットワークの全体的な正常性スコアに基づいてテーブルをフィルタ処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [All] • [Poor] : 正常性スコアが 1 ~ 3 のデバイス。 • [Fair] : 正常性スコアが 4 ~ 7 のデバイス。 • [Good] : 正常性スコアが 8 ~ 10 のデバイス。 • [No Health] : 正常性データのないデバイス。

[Virtual Network Devices] ダッシュレット	
アイテム	説明
[Virtual Network Devices] テーブル	<p>選択した項目のデバイス情報が表形式で表示されます。</p> <p>(注) 全体的な正常性スコアは、仮想ネットワーク接続とインフラストラクチャの KPI メトリック正常性スコアの最小サブスコアです。</p> <p>各種の正常性スコアとアイコンにカーソルを合わせると、追加情報が表示されます。 \</p>
[Device 360]	<p>[Name] 列でデバイス名をクリックすると、デバイスの 360 度ビューが表示されます。</p> <p>[Device 360] には、デバイスの問題のトラブルシューティングに関する詳細情報が記載されています。</p>
 Export	<p>デバイス情報を CSV ファイルにエクスポートするには、[Export] をクリックします。</p>
	<p>テーブルに表示するデータをカスタマイズします。</p> <ol style="list-style-type: none">  をクリックします。 オプションのリストが表示されます。 テーブルに表示するデータのチェックボックスをオンにします。 [Apply] をクリックします。

仮想ネットワークの正常性スコア

現在、マルチキャスト VN サービスが、VN 正常性スコアに関する唯一の KPI です。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。